

2013 まごのてくらぶ活動 1

2

5月25日(土) セブ宿町地域共創事業「田植え」

10月5日(土) セブ宿町地域共創事業「稲刈り」

本学は、2012年11月セブ宿町と過疎・高齢化対策に取り組むため「地域共創協定」を締結。セブ宿が持つ資源(自然環境)を活かした学びを通して、地域を支える人材の育成、心豊かな暮らしができる地域づくりを目的に、セブ宿町と東北福祉大学、農事法人組合「千年塾」が中心となり自然との共創学習を展開しています。

25年度は干蒲地区学習田においての米づくり、茂ヶ沢地区では本学の学習林を活用して山菜等の収穫と食品加工を実施し、田植えと稲刈り支援に携わりました。

場所：セブ宿町干蒲地区 「田植え」 参加者：14名 一般学生21名

「稲刈り」 参加者：6名 一般学生13名



2013 まごのてくらぶ活動 2

5月26日(日)・11月17日(日) 鈴虫荘公園清掃・花壇づくり

この鈴虫荘公園の支援は「まごのてくらぶ」発足当時の一番最初の支援としても知られている。今回も、まごのてくらぶの学生に加えて20名近くの地域の方々が参加しました。この支援の特徴としては、何より「まごのてくらぶ」の本来の主旨に沿った活動内容であり、地域の方々と顔と顔の見えるお付き合いが出来る最高の支援である。こうした支援において、学生は学校で学ぶことのできない異年齢の方々とのふれあいが学生自身にとって、とても大きな財産となっています。

場所：鈴虫荘公園 参加者：5月 16名、11月 14名、町内会19名



2013 まごのてくらぶ活動 3

6月1日(土)～2日(日) 立町小学校運動会

この活動は、まごのてくらぶ本来の活動エリアではなかったものの、学内に本事業の運営委員と知り合いの方がいたことから今回支援依頼を頂き実施に至りました。

具体的な支援内容としては、運動会実施に向けたグラウンド整備や資材の運搬、テント設営、運営補助等を実施致しました。

場所：立町小学校 参加者：5名



2013 まごのてくらぶ活動 4

6月2日(日) 羽黒神社子ども神輿担ぎ

毎年、羽黒神社のお祭りにおいて大人と子どもの神輿担ぎが行われています。そこで今回、日頃よりお付き合いある北山西部町内の会長様より依頼を頂き子ども神輿担ぎの補助を行いました。

学生は地域の伝統行事の継承を目的とすることはもちろんですが、多くの子どもたちが参加する中、児童が車道にはみ出ないように声掛けをしたり、神輿担ぎのサポートに取り組みました。

場所：羽黒神社 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 5

6月8日(土) 合同防災訓練(木町通小学校)

東日本大震災発生以降、各地域で自主防災に対する意識が高くなってきています。そこで、この度、本学大学指定団体チーム防災士と共に木町通小学校において防災訓練が実施され、会場の運営スタッフや児童のサポーターとして活動に取り組みました。

場所：木町通小学校 参加者：16名



2013 まごのてくらぶ活動 6

6月12日(水) 合同防災訓練(岡田小学校)

震災の影響から自主防災訓練や応急手当てに関する講習会などが各地で盛んになってきています。この日は、岡田小学校の児童を対象に、まごのてくらぶとチーム防災士が協力し、防災訓練の運営補助や児童のサポートに取り組みました。

場所：岡田小学校 参加者：2名



7月14日(土) 国見連合町内会・まごのてくらぶ合同災害支援

東日本大震災の復興支援として、被災地である女川町において平成24年2月から活動している「復興ふれあい農園」は今回で21回目を数える。約300坪に拡張された農園では約30名の方々が野菜作りに汗を流しています。今回は日ごろお世話になっている国見地区の方々と合同での除草作業やジャガイモや玉ねぎ等の収穫のお手伝いをしました。また、この春、女川町社会福祉協議会に就職したまごのてくらぶの卒業生から「私が思うまごのてくらぶ」という題でのお話をいただきました。身近な先輩が被災地で奮闘している姿に感動を覚えるとともに、復興への長い道のりを実感した一日でした。

場所：女川町清水・新田地区 参加者：18名 国見連合町内会 24名



2013 まごのてくらぶ活動 8

8月2日(金)～6日(月) 第21回くにみ夏まつり

国見小学校を会場に、年に一度行われる一大イベントである、くにみ夏まつりが開催されました。今年もまごのてくらぶが中心となり、地域の方々と共に準備から当日の運営、片付けまでを実施しました。くらぶ発足以来、継続的に取り組んでいる支援ということもあり、学生も慣れた手順で毎年活動に参加させて頂いています。

場所：国見小学校 参加者：35名





8月6日(火)～8日(木) 網地島ふるさと楽好

平成19年から活動している「網地島ふるさと楽好」は児童養護施設に入居している子ども達などを招いて、島の高齢者が先生となり、魚釣り、郷土料理作り等を通じて島の高齢者と子ども達の交流活動を行っている。参加した子ども達には網地島の魅力を知ってもらい、将来、網地島で漁業等に就労する方や定住する方が少しでも増えることや高齢者の生きがいづくりに寄与することを目的としています。学生は網地島ふるさと楽好の運営支援等(魚釣り、海水浴、シーカヤック、昔遊び、流木や小石を使っのクラフト製作、郷土料理体験など)の派遣依頼を受けて2泊3日の行程で活動してきました。

場所：網地島 参加者：5名



2013 まごのてくらぶ活動 10

8月24日(土)～25日(日) 三条町夏祭り

三条町夏祭りは、まごのてくらぶの活動エリア内において、くにも夏祭りとは並ぶ一大イベントとして毎年参加させて頂いています。三条中学校の校庭において盛大に催され、準備・運営・片付けまで一通りの活動に関わらせて頂き、地域の方々との絆もより強固とすることができる支援でもあります。

場所：三条中学校 参加者：5名



8月25日(日) 第28回わらじで歩こう七ヶ宿(七ヶ宿町活性化支援)

「わらじで歩こう七ヶ宿」は七ヶ宿町の町おこしならびに観光産業の活性化を目的に開催されています。今回の参加は町の活性化に寄与するとともに、参勤交代往時を肌で感じ歴史を偲ぶことを目的として大学を挙げて企画し、まごのてくらぶの学生ほか、一般学生、教職員も含め総勢37名の参加でした。イベントは七ヶ宿スキー場をスタートし七ヶ宿町役場まで国道を迂回した約12kmの道のり。江戸時代の旅姿コンテスト部門に参加した本学のテーマは「水戸黄門気まま旅」。東映太秦撮影所より借り受けた「本物」に身を包み優勝を戴くことができました。まごのてくらぶの学生は「助さん」「格さん」「お銀」などに扮し注目を浴びていました。

場所：七ヶ宿町内 参加者：4名 一般学生 11名



宮城県農林水産部農村振興課 中山間地域集落支援事業 ーその1ー

9月11日(水) 七ヶ宿町干満集落支援事業「ヨモギ畑再生プロジェクト」

9月29日(日) 丸森町筆甫中区集落支援事業「中区景観形成プロジェクト」

宮城県では今年度、過疎地域の集落が必要とする農作物などを支援する、集落支援事業をモデル的に実施しています。支援者(援農ボランティア)として、企業や大学、個人等を県のHPなどを通して募集し、集落を支援する取組である。第1回目はサルやイノシシなどの鳥獣被害に悩まされている七ヶ宿町干満地区(約30戸の集落)で耕作放棄されたヨモギ畑でのヨモギ移植に参加。第2回目は宮城県最南端に位置する丸森町筆甫地区でのヒマワリの刈り取りと種の収穫作業に参加しました。

場所：七ヶ宿町干満地区

参加者：16名(うちまごのてくらぶ 2名)

丸森町筆甫中区

参加者：24名(うちまごのてくらぶ 2名)



宮城県農林水産部農村振興課 中山間地域集落支援事業 一その2ー
11月16日(土)～17日(日)・23日(土)～24日(日)
丸森町耕野芦沢集落支援事業「干し柿づくり支援プロジェクト」

第3弾となった耕野芦沢地区は第2弾実施の丸森町西部、阿武隈川沿いに位置する集落です。この地域は干し柿作りが盛んで、この時期が収穫の最盛期を迎えます。今回は受け入れ先の農家へ3～4名程度分かれての支援になりました。内容としては柿の収穫、皮むき、吊るし干しするための縄付けなど、一連の干し柿作りの工程をお手伝いしました。一農家あたりの柿の木の本数は大変なもので、家族総出で作業にあたっているとの事です。秋の風物詩の一つでもある干し柿も、大変な時間と手間ひまをかけているものだ后感心させられました。

場所：丸森町耕野芦沢集落 参加者：延44名(うちまごのてくらぶ 延7名)



9月15日(日) 大崎八幡宮例大祭神輿担ぎ

今回はじめて依頼を受けた大崎八幡宮例大祭神輿担ぎは、大崎八幡宮の一大会事である。警察、消防、町内会をはじめ関係各所の協力のもと大勢が見守る中、行列をなして市中を練り歩いた。今にも泣き出しそうだった空だったが、途中からものすごい大雨へと変わり、みんなずぶ濡れになりながらも無事、大崎八幡宮に戻ってきました。今回のような地域の大きな行事に参加できたことは、地域を知る上で大変貴重な体験だったと思います。

場所：大崎八幡宮～八幡小学校～大崎八幡宮 参加者：33名



2013 まごのてくらぶ活動 15

9月18日(水) 南吉成小学校「社会体験授業」生徒補助

この度、南吉成小学校の社会体験授業において、まごのてくらぶが生徒のサポート役として支援を行いました。この活動は、東北自動車道の西に位置する権現森において、小学生の社会体験授業の一環として自然と触れ合いながら森の中を散策して回る活動であり、現場の児童の危機管理役として活動に取り組みました。

場所：権現森(青葉区芋沢) 参加者：2名



2013 まごのてくらぶ活動 16

9月27日(金) ボランティアリーダーズカフェ

この活動は、日頃地域福祉活動に取り組んでいる団体が集い、平時の取り組みや課題について意見交換や情報交換を行うことを目的に開催され、この度青葉区社会福祉協議会よりお声掛けを頂き参加に至りました。短い時間ではあったものの、様々な団体と意見を交わすことができ非常に貴重な時間を過ごすことができました。

場所：木町通市民センター 参加者：2名



10月3日(木)～4日(金) 藤田養魚生産再生支援

東日本大震災による津波被害を受けた福島県相馬市にある「藤田養魚」。震災当時、16ヶ所(屋内5ヶ所・屋外11ヶ所)の養魚池で3万匹飼育されていた錦鯉のうち、約1割が犠牲となった。大学は被災された藤田養魚において、池の水草除去・錦鯉の池上げ(投げ網)・錦鯉の選別作業等を目的とした被災地支援活動を実施しました。

藤田養魚では現在11万匹の錦鯉の稚魚が飼育されており、模様(色合い)・大きさ等のバランスなどの観点から選別作業を行い、最終的には2万匹まで絞るとのことである。

場所：福島県相馬市「藤田養魚」 参加者：4名

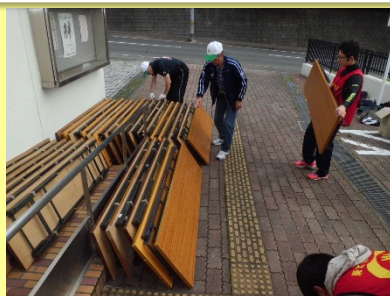


2013 まごのてくらぶ活動 18

10月6日(日) 第37回国見学区民大運動会

まごのてくらぶが発足当時から継続的に行われている活動です。毎年、前日準備・当日の運営スタッフ・後片付けを地域の役員の方々と共に実施しています。また、この活動は年に一度の一大行事として、国見地区連合町内会の方々と学生がひとつになり創り上げる、地域共創の理念に基づいた活動です。

場所：国見小学校 参加者：21名



10月14日(月) 女川町スポーツフェスティバル兼レクリエーション大会

女川町、女川町教育委員会主催の本事業は、被災地女川町の復興支援を前提とし、地域住民の心のリフレッシュ・幅広くスポーツレクリエーションに親しむ・コミュニケーションの促進等を目的に開催された。本学も、宮城県レクリエーション協会などとともに共催として計画段階から参画した。参加団体は県内のレクリエーション、ニュースポーツ等の各種協会団体で、生涯スポーツの一環としてスポーツレクリエーションに出会う「場」の提供と日常的・継続的に生活の一部とするように支援することを目指している。まごのてくらぶは主に屋外で「ノルディックウォーキング」を担当しました。今回の来場者は延452名でした。

場所：女川町総合運動場・総合体育館 参加者：7名



10月20日(日) 映画『ふるさとがえり』上映会・討論会

地域づくりの自主上映会。地域の未来を対話する、地域で仲間を増やす、地域の社会問題を考える、ことを目的にステーションキャンパスにおいて自主上映会を実施しました。映画『ふるさとがえり』は「市民参加型映画」で企画・製作・配給、あらゆる「映画」のプロセスに数多くの地域住民が主体的に参加しながら作り上げられた映画です。劇場公開は行わず、地域や町のイベント、「市町村合併」フォーラム、消防関連イベントなどで上映会を開催し、映画を観るだけでなく、映画を素材として様々な人たちとの討論をすることで、ふるさとや地域の未来を一緒に考えて考える市民参加型の上映会です。今回は国見地区まちづくり協議会が主催となり、準備や討論会にまごのてくらぶの学生が参加しました。参加者は国見地区町内会の方々や子供会、PTA、青葉区、消防関係者など約100名ほどでした。

場所：ステーションキャンパス 参加者：7名

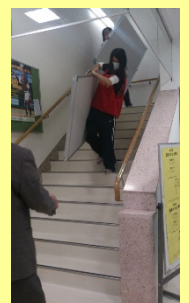


2013 まごのてくらぶ活動 21

11月4日(月)・6日(水) 第20回国見コミセン祭り器材運搬

昨年から支援依頼を受けている国見コミュニティセンターを会場とするお祭りのための会場準備と片付け作業です。椅子や長机、パーテーションなどの器材を貝ヶ森市民センターより搬入します。

場所：国見コミュニティセンター 参加者：9名



2013 まごのてくらぶ活動 22

10月30日(水)～11月1日(金) 南吉成中学校「職場体験」生徒補助

この活動は、中学生の職場体験学習として、南吉成中学校の生徒が権現森の環境保全に務める方々と共に、自然を相手にする職業を体験する事業として実施されました。そこで、まごのてくらぶは中学生の補助員として加わり、中学生と共に自然について学びながら事業に取り組みました。

場所：権現森 参加者：2名



2013 まごのてくらぶ活動 23

11月9日(土) 南吉成児童館「権現森ハイキング」児童補助

南吉成児童館の児童及び保護者と共に、権現森のハイキングに参加しました。まごのてくらぶは主に児童・保護者のサポート役として、この事業に参加すると同時に、自身の勉強のために参加者と共に自然について学びながらこの事業に取り組みました。

場所：権現森 参加者：2名



11月2日(土)～3日(日) 第5回くにみ街道まつり

地域のおまつりとして定着しているくにみ街道まつりが秋晴れのもと、今年で5回目を迎えました。これまでで最高の5,000人を超える来場がありました。まごのてくらぶは前日の会場準備や屋台販売コーナー出品の下準備などから行いました。当日は玉コン・煮たまご販売、女川産サマ・ホタテの炭火焼、塩蔵ワカメ販売、セ・宿町特産品販売、10月に支援を行った藤田養魚からの金魚すくい・錦鯉販売、そしてまごのてくらぶの活動報告の場でもある、地域共創フォーラムなど、運営の一端を担いながらの充実した二日間でした。

場所：ステーションキャンパス 参加者：延61名



2013 まごのてくらぶ活動 25

11月15日(金) 若星会議 (中学生と将来について語り合う集い)

この活動は、「若星会議」と題して、本学近隣の中学校の生徒と大学生が共に将来について語り合いながら、交流を深め合う目的のもと行われました。参加した中学生は、それぞれが思い描く「将来像」を語ると共に、大学生の言葉を真剣に聞きながらお互いに有意義な時間を共有することができました。

場所：国見児童館 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 26

11月16日(土)～17日(日) しめ縄づくり

日本の伝統文化である「しめ縄作り」を高齢者から若者へ継承したいという目的により毎年、北山西部町内会長より依頼を受け取り組んでいます。特に、現代において高齢化が問題視されていることから、こうした伝統文化を若者に継承するための一助として、学生も毎回の支援に積極的に参加しています。

場所：羽黒神社 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 27

11月17日(日) 荷物運搬

この活動は、古くて使用できなくなったブラウン管テレビの処分です。単身高齢者宅の女性では運搬が不可能とのことから、今回支援依頼を受け実施に至りました。短時間の作業ではあったものの、くらぶ本来の支援活動として非常に充実した時間を送ることができました。

場所：国見1丁目（高齢者個人宅） 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 28

11月20日(水) 北山駅東北福祉大学間通学路清掃

まごのてくらぶは、本来地域より支援依頼を受けてから活動に至りますが、この活動は、日頃通学に利用する通学路において、枯葉が散乱しているとのことから、学生が自主的に取り組み行った活動です。活動には、近隣地域の町内会長様も数名参加して下さい、会話を楽しみながら有意義な支援時間を送ることができました。

場所：北山地区 参加者：6名



2013まごのてくらぶ活動 29

12月16日(月) 大崎市沼部ふるさと委員会「防災研修会&リーダー研修会」

宮城県北の大崎市田尻では平成18年の大崎市誕生と同じくして、“地域の課題は、地域住民の意志に基づき自主的な解決を目指す”ことを目的に、行政との協働による地域特性を活かした自治活動に取り組んでいます。その活動の一つに「安全安心なまちづくり」の確立に向けて、防災リーダー等を対象に「防災研修会・リーダー研修会」を開催しています。今回は地域共創推進室より「大学と地域のかかわり」についての講演と、学生からは「まごのてくらぶの活動について」の発表を行ってきました。

場所：大崎市沼部公民館 参加者：3名 研修参加者：地域住民65名



2013まごのてくらぶ活動 30

1月11日(土) 第5回パナソニックキッズスクールCUPローフジャンプ小学生No.1決定戦

まごのてくらぶには、レクリエーションインストラクターの資格を持つ部員が多く在籍しており、今回、日頃からお付き合いのある宮城県レクリエーション協会から依頼を受け、この事業に参加しました。具体的な活動は、小学生による大縄跳びの全国大会に向けた宮城県予選の審判や役員として取り組みました。

場所：岩沼市総合体育館 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 31

1月14日(火) 仙台市長と地域のつどい

この活動は、仙台市長が宮城県内で地域を舞台に活動する団体のもとへ訪問し、対談を行いながら日常的な取り組みについての報告や情報交換を行う活動です。まごのてくらぶからは、6名が出席し、普段お会いすることが難しい仙台市長と直接的な会話することができ、貴重な時間を送ることができました。

場所：本学ステーションキャンパス 参加者：6名



2013 まごのてくらぶ活動 32

1月14日(火) 松焚祭(どんと祭)参拝者誘導

毎年、数十万人もの参拝者が訪れるこの松焚祭。まごのてくらぶは、毎年この活動に参加し、松焚祭に訪れた参拝者の誘導係やゴミの分別作業など、現場スタッフとして活動に取り組んでいます。

場所：大崎八幡宮 参加者：学生11名



2013 まごのてくらぶ活動 33

2月9日(日) 国見の杜子ども会歓送迎会

国見の杜子ども会では、この時期になると小学校を卒業する6年生と小学校に入学する児童を対象に毎年歓送迎会を開催しています。今回、まごのてくらぶではイベントの企画・運営として携わり、レクリエーションを提供し、児童と共に楽しい時間を過ごすことができました。

場所：貝ヶ森市民センター 参加者：6名



2013 まごのてくらぶ活動 34

2月23日(日) 半子町子ども会歓送迎会

この活動は、毎年の恒例行事となっており今回で3回目を数えます。上記の支援活動同様、小学校を卒業する6年生と小学校に入学する児童を対象に毎年歓送迎会としてまごのてくらぶの学生がレクリエーション提供を行い、児童間だけでなく学生と児童との交流も図れる活動です。

場所：貝ヶ森市民センター 参加者：学生14名



2013 まごのてくらぶ活動 35

2月17日(月)～18日(火) ステーションキャンパス周辺雪かき

突然の大雪に見舞われ、急遽、まごのてくらぶの学生により雪かきが行われました。エリアは、くらぶの活動拠点となっているステーションキャンパスを中心とした周辺地域であり、総勢20名により実施されました。

場所：本学ステーションキャンパス周辺 参加者：20名



2013 まごのてくらぶ活動 36

2月25日(火) 雪かき

この活動は、大雪の影響により駐車スペースの確保が困難とのことから依頼を受け、単身高齢者宅の庭の雪かき支援を行いました。活動スペースこそ広くはなかったが、雪の重さに学生4名もかなりの労力を必要とする支援となりました。

場所：子平町(高齢者個人宅) 参加者：4名



2013 まごのてくらぶ活動 37

2月20(木)・23日(日) こども・わかもの会議

日頃よりお付き合いのある国見児童館より依頼を受け、国見地区をはじめ、県内各地域の中高生が将来(未来)について語り合うこども・わかもの会議においてまごのてくらぶが中高生のサポーター及び司会者として、この会に参加しました。

場所：東北学院大学土樋キャンパス 参加者：3名



2013 まごのてくらぶ活動 38

3月4日(火) 荷物運搬

この度、単身高齢者宅(女性)において、大きな荷物の運搬作業の依頼を受けました。荷物は、大きな机や段ボールなどがあり、高齢者の女性では運搬が不可能であると判断したと同時に、くらぶ本来の理念に基づいた活動であったことから、支援を実施いたしました。

場所：子平町(高齢者個人宅) 参加者：2名



2013 まごのてくらぶ活動 39

3月29日(土) 国見コミュニティ広場ゲートボール場ローラー掛け

恒例となっているこの活動は、毎年4月に国見コミュニティ広場において開催されるゲートボール大会のためのグラウンド整備です。この活動は、地域の方々の参加はもちろんですが、グラウンド整備に必要とされるローラーが非常に重たく、学生の若い力が必要であるとのことから、毎年多くの学生が参加させて頂いています。

場所：国見コミュニティ広場 参加者：17名



2014版 まごのてくらぶ震災復興カレンダー製作

東日本大震災発生以降、震災風化を防止するため、毎年まごのてくらぶの学生がカレンダー製作に取り組んでいます。初の試みであると同時に、今後も3.11を忘れないという強い思いから、継続的に取り組む予定です。

場所：本学ステーションキャンパス

2014 震災復興カレンダー



「生活支援」
・被災者支援センター
・生活サポートセンター
・被災者生活支援センター

「生活支援」
・被災者支援センター
・生活サポートセンター
・被災者生活支援センター



「生活支援」
・被災者支援センター
・生活サポートセンター
・被災者生活支援センター



「生活支援」
・被災者支援センター
・生活サポートセンター
・被災者生活支援センター

1月

全日程実施 平成27年1月1日(土)～14日
全日程実施 平成27年1月14日(木)～15日

日	月	火	水	木	金	土
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

★1月期間の施設とお付き合いが、要請時に「協力力」として形になる★

2014 病災復興カレンダー

「震災の日」を忘れない
（平成26年3月11日）

あなたがい時を
忘れない

●東宮区団地
・支援—水電復旧

2月

支援開始：平成26年3月11日（月）
※東日本大震災発生から1ヶ月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

※東宮町大野の地区、ほろく（東宮区八幡組）より派遣 ※
※東日本大震災発生から1ヶ月

2014 震災復興ボランティア活動レポート



ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子



ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子

ボランティア活動の様子

[illegible]

2014 震災復興列カレンダー (特撮 津波の全貌)

津波の全貌を伝える

東の海に熱き涙を流した日々を忘れない
郷の為に母と汗を流した日々を忘れない

5月 23日祝祭日・平成27年(2015年) 4月14日
 日本銀行(株)発行 100円 小銭

登上げ・配給者・瓦葺園芸 等

日	月	火	水	木	金	土
4	5	6	7	8	2	3
11	12	13	14	15	16	10
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

★東日本に江戸まで江戸17番★
 東北福祉大学 津波被災者支援センター TEL:022-724-1111 FAX:022-724-1103

2014 震災復興カレンダー

「震災復興カレンダー」は、被災地支援の取り組みを、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。

「震災復興カレンダー」は、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。



「震災復興カレンダー」は、被災地支援の取り組みを、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。

「震災復興カレンダー」は、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。

「震災復興カレンダー」は、被災地支援の取り組みを、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。

「震災復興カレンダー」は、毎月1枚の「カレンダー」を通して、広く社会に発信し、支援を呼びかけたいと考えています。

6月

6月1日(水) 6月2日(木) 6月3日(金) 6月4日(土) 6月5日(日) 6月6日(月) 6月7日(火)

	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	
8	9	10	11	12	13	14	
15	16	17	18	19	20	21	
22	23	24	25	26	27	28	
29	30						

★被災地・被災者・関係者による企画のよう★

東北支援センター 東北支援センター 東北支援センター 東北支援センター 東北支援センター 東北支援センター 東北支援センター

[illegible]

2014 震災復興カレンダー

【震災地域支援】
「ボランティアが
笑顔を増やす」





「ボランティアは
震災地の隅々まで」



【努力支援（瓦葺き活動）】

8月

日	月	火	水	木	金	土
	4	5	6	7	8	1
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

※ 公益財団法人日本赤十字社
文部科学省・文化庁認定NPO法人
（国・県・市指定）

31 ※ 赤十字会、その他、民間の任意団体へお申し込みください
東北福祉大学（ほくつこ）から 地域づくり推進センター022-380-1098

2014 震災復興カレンダー (今年最初の行事予定)

「復興を信じて、共に歩んでいこう」

「震災復興(希望の道)」
 新潟県立長岡大学内
 内閣府支援センター主催

9月

支援団体：平成27年11月1日付
 支援団体：平成27年11月1日付

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

★復興支援は個人ではできない、当事者自身と協力して
 希望の道を実現しよう！

2014 震災復興カレンダー 【施設員外出中】

「被災地支援活動」の一環として、毎月定例の「**施設員外出中**」を
「やさしさを発信する目的」を
つけたよ。

（毎月１回）
『大分県立生涯学習センター』
『大分県立青少年会館』
『大分県立図書館』
→大分市（市民センター）

大分県立図書館・大分県立生涯学習センター
大分県立青少年会館
大分市（市民センター）

10月

	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
5	8	7	8	9	10	11	
12	13	14	15	16	17	18	
19	20	21	22	23	24	25	
26	27	28	29	30	31		

***1日時から心算♪ようねお返さ〜**

重要無事災害発生時連絡先
電話：090-9232-3163、13045

2014 震災復興力「1」がー 国・自治体の取組事例

～被災地支援の取組事例～















11月

「まさは、出来ることから」

「復興力」をテーマに開催

～「まさは、出来ることから」～

～「まさは、出来ることから」～

開催期間：平成26年11月17日（月）

開催場所：大分県庁 大分市役所 大分市役所

大分県庁 大分市役所 大分市役所

大分県庁 大分市役所 大分市役所

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

※本庁・県庁、市町村等による

大分県庁 大分市役所 大分市役所

2014 防災復興カレンダー 震災、被災地支援活動記録

「ボランティアが船に乗りこえて」
被災地へ物資を運ぶ船

寒げよう 笑顔の輪！
広げよう！微笑との絆！

「ものづくり支援」
震災に打撃を受けた漁業、漁舟の手直し
活動の様子をご紹介します。

12月

支援期間：平成23年12月14日
～平成24年1月10日まで

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

*販売店：『海の安全確保』銀座支店
東北福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科 福祉実習室
〒981-8505 仙台市青葉区大森1丁目1番1号 TEL:022-796-1108

[illegible]

6月15日(土) まごのてくらぶ総会

本会は、年に一度の定例行事であり、大学関係者を始め町内会の方々や行政機関の方々を招いて開催されます。会の内容として、前年度の実績報告・今年度の事業計画・新入生や新幹部の紹介などを行っております。

場所：本学ステーションキャンパス



2013 まごのてくらぶ活動 42

10分間活動(平時の活動)

授業の空き時間を利用して、10分間の奉仕活動に取り組んでいます。この活動は、ステーションキャンパス敷地内や駐輪場の整理整頓など、少しの時間でもできる奉仕活動を心掛けようと、学生が主体的に取り組んでいる活動です。

場所：本学ステーションキャンパス



2013 まごのてくらぶ活動 43

6月30日(日) 国見5丁目町内会よりまごのてくらぶへ自転車贈呈

日頃の取り組みが評価され、国見5丁目町内会より自転車を寄贈して頂きました。普段顔と顔の見えるお付き合いをさせて頂いていることはもちろんですが、今回まごのてくらぶの平時の取り組みを改めて評価して頂き、5丁目町内会の会長様より自転車を寄贈して頂きました。

場所：国見5丁目町内会集会所 参加者：3名

